

宮殿修復 Vol.1

・^{くう}宮殿^{でん}の解体 2019 1. 18

阿弥陀堂内陣の修復が本格的に始まり、まずは、御本尊(阿弥陀如来像)をご安置する宮殿が解体されました。

宮殿のまわりに足場を組み、屋根を油圧ジャッキで持ち上げた後に、柱などの解体が行われました。職人たちは、細心の注意を払いながら、数多くある部品を一つずつ取外し、番付をして梱包していきました。解体された宮殿は汚損などを調査した後、順次修復が進められます。

阿弥陀堂内陣は、一時の静寂に包まれ、修復開始を待ち受けます。

※宮殿の修復は1984年以來35年ぶりです。



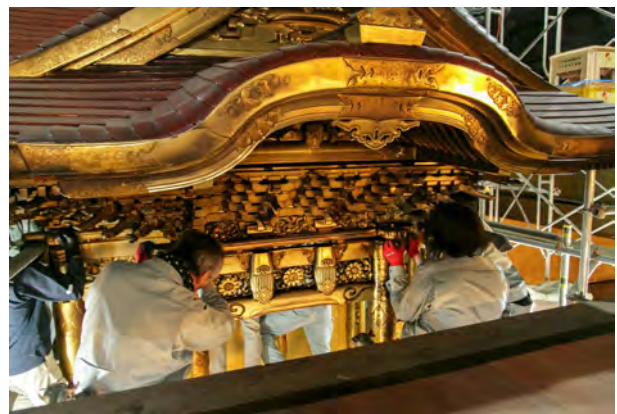
▲宮殿解体前の内陣



▲宮殿解体後の内陣



▲ジャッキで屋根を持ち上げている様子



▲解体作業



▲解体された宮殿の部品



▲屋根の組物部品